

平成 27 年 11 月発行

# 第 39 号

発行 有田川町議会  
発行責任者 議長 中山 進  
住所 郵便番号 643-0021  
和歌山県有田郡有田川町  
大字下津野2018番地4  
電話 0737-52-2111  
FAX 0737-52-2198

<http://www.town.aridagawa.lg.jp/profile/gikaikoho.html>

# 有田川町議会広報 かわら版



ほくたち、わたしたちもがんばったよ！

あらぎ島での稲刈り体験

平成 27 年度補正予算・議会マメ知識 .....	2 ~ 7
一般質問 .....	8 ~ 15
委員会レポート .....	16 ~ 17
子ども議会 .....	18 ~ 21
編集後記 .....	22

新保育所施設整備工事費に

8,600万円

下水道終末処理施設工事費変更

1億8,200万円

一般会計補正予算

1億9,573万円

平成27年第3回定例会は、9月2日から17日までの日程で開催されました。本定例会に提案された平成27年度一般会計補正予算・各特別会計補正予算、平成26年度水道事業会計決算、条例の一部改正、規約の変更、道路線の認定・変更、請負契約、

財産の取得など、提案された議案を審議し、すべて原案の通り可決されました。

なお、平成26年度一般会計決算・各特別会計決算も上程されましたが、決算認定については休会中に決算審査特別委員会で審議されます。

## 平成27年度補正予算の主な歳出

### ◎一般会計補正予算

(単位：万円)

項目	金額	主な内容
議会費	11	
総務費	6459	テレビ共聴施設(釜中地区)整備事業 地域住民生活等緊急支援交付金事業 ふるさと納税返礼品など
民生費	1億0694	新保育所周辺整備や備品購入費 病児・病後児保育委託料 国保特別会計繰出金など
衛生費	533	不法投棄ごみ撤収委託料、ランニングマシン購入など
労働費	12	
農林水産業費	△1億1529	農村総合整備事業(小川地区)の国からの補助減額など
商工費	47	二川温泉ボイラー温度制御盤修繕料 鉄道交流館ジオラマ作成教室講師代 かなや明恵峡温泉会計の繰出金
土木費	△93	町道植野線測量設計監理等委託など
消防費	602	消火栓設置工事・修繕(庄一・東丹生図)消火栓ボックス新設、 消火ホース購入など
教育費	2186	明恵の里スポーツ公園改修工事費など
諸支出金	1億0110	ふるさと応援基金積立金、 低炭素社会づくり推進基金積立金
予備費	538	
歳出合計	1億9573	

### 補正予算質疑

**質疑** 宿直業務委託料255万9千円を臨時雇賃金に変更した理由はどうか。

**総務政策部長** 各庁舎の宿直業務はシルバー人材センターにお願いしている。県のシルバー人材センターの指摘を受け、この業務を、委託から臨時雇賃金に替えた。

また国の経済財政諮問会議の専門調査会で、高



吉備庁舎宿直室

齢者の活躍・促進として、65才以上の就業率を3%程度引き上げると出されている。各庁舎に今まで来ていただいている方で、

庁舎の内容に精通しているシルバー人材センターの高齢者を直接雇用したい。

**質疑** いま不景気で雇用先を探している人が多い。宿直業務は公募すべきではないか。

**総務政策部長** 国の経済財政諮問会議の専門部会の報告もあり、今まで各

庁舎に来ていただいている方を雇用したい。

**質疑** 地域住民生活等緊急支援交付金事業費1110万円とある。この計画の中で委託先をリバースプロジェクトに決めた理由は何か。できるだけ有田川町の実態に即した内容で提案できるとこ

ろを検討していただきたい。

**総務政策部長** 委託先はまだ決まっていないが、国へ要望するうえで、より具体性を持たせるために入れた。

町の総合戦略プロジェクトに関連して、アメリカのポートランド市を手本に進めているが、リバースプロジェクトの代表は伊勢谷友介氏で、その方がポートランド市に特に精通している。

**質疑** 緊急支援交付金事業の中に若年者定住まちづくり事業450万円がある、計画の中に「女子会」をつくるとなっている。9月27日開催のガールズトークの参加者から選ぶのか。どのような活動・情報発信をしていくのか。



9月27日開催されたガールズトーク（田殿小学校体育館）

ら構成されている。このような会になればと思っている。活動や発信情報は今後、結成する「女子会」で計画していく。

**質疑** 緊急支援交付金事業の中に遊休施設の民間活用410万円がある。どのような施設を対象にしているか。

**総務政策部長** モデルケースとして、田殿保育所を予定している。この事業は将来的には金屋地域、清水地域へ広がっていき

**総務政策部長** 総合戦略の最優先項目として、若い女性に有田川町に来ていただき、定住してもらうために、若い女性の目線での発想をいかしたアイデアや意見を出してもらおう。自発的に若い女性に参加していただきたい。例えば、和歌山市内に女子会「ジュエルズ」という会が立ち上がっている。約120名か



統合保育所建設で廃園となる田殿保育所



重要なお知らせを有田川町ホームページでも掲載している

ク助成金の追加  
 ◎平成27年度介護保険事業特別会計  
 437万6千円の追加補正で総額30億6630万8千円。  
 ◎平成27年度簡易水道事業特別会計  
 815万8千円の追加補正で総額7億9892

**質疑** 情報発信施設の整備とあるが、どのような計画になっているか。  
**総務政策部長** この事業の情報を町内外、県外に向かつて発信していく。例えば、情報発信ツールとして、ホームページ、フェイスブック、ツイッターなど、ソーシャルネットワークサービスの利用の整備を考えている。  
**質疑** 緊急支援交付金事業の中に新規就農者受入事業250万円とある。

その中で空き家、空き店舗調査はどこが行うのか。  
**総務政策部長** 産業課と調査委託先とが連携しながら行う。  
 ◎平成27年度国民健康保険事業特別会計  
 5508万8千円の追加補正で総額44億7354万4千円。  
 ◎平成27年度後期高齢者医療特別会計  
 46万5千円の追加補正で総額9679万3千円。一日、脳ドック助成金の追加  
 ◎平成27年度介護保険事業特別会計  
 437万6千円の追加補正で総額30億6630万8千円。  
 ◎平成27年度簡易水道事業特別会計  
 815万8千円の追加補正で総額7億9892

万5千円。  
 ◎平成27年度公共下水道事業特別会計  
 826万3千円の減額で総額23億9996万3千円。  
 ◎平成27年度農業集落排水事業特別会計  
 146万4千円の追加補正で総額2億8772万9千円。  
 ◎平成27年度かなや明恵峡温泉特別会計  
 110万円の追加補正で総額1億748万円。  
 ◎平成27年度水道事業会計  
 191万9千円の追加補正で総額3億833万4千円。

**報告**

◎平成26年度有田川町財政健全化判断比率等の報告(下段の表を参照)  
**実質赤字比率**(実質収支は3億1020万円の赤字であり実質赤字比率は発生しない)  
**専決処分の承認**  
 ◎平成27年度一般会計補正予算  
 3億7376万円  
 「台風11号により災害が発生し、緊急に災害復旧事業を実施するため」  
 農業用施設4000万円、農地災害1億円、町道河川災害1億100万円。

◎平成27年度農業集落排水事業特別会計  
 146万4千円の追加補正で総額2億8772万9千円。  
 ◎平成27年度かなや明恵峡温泉特別会計  
 110万円の追加補正で総額1億748万円。  
 ◎平成27年度水道事業会計  
 191万9千円の追加補正で総額3億833万4千円。  
**連結実質赤字比率**(普通会計に公営企業会計等特別会計を含めた連結での実質収支は、全ての特別会計において黒字となり連結実質赤字比率は発生しない)  
**実質公債費比率**は11.2%(25%で早期健全化基準、35%で財政再生基準)  
**将来負担比率**は54.6%(350%で早期健全化基準)  
**資金不足比率**(水道事業会計や、簡易水道事業特別会計などいずれも資金不足は発生していない)  
 ◎平成27年度一般会計補正予算  
 3億7376万円  
 「台風11号により災害が発生し、緊急に災害復旧事業を実施するため」  
 農業用施設4000万円、農地災害1億円、町道河川災害1億100万円。

**平成26年度 有田川町資金不足比率報告**

(単位: %)

	比率	経営健全化基準
水道事業	—	20.00
簡易水道事業	—	20.00
公共下水道事業	—	20.00
農業集落排水事業	—	20.00
簡易排水事業	—	20.00
浄化槽事業	—	20.00
かなや明恵峡温泉事業	—	20.00

資金不足額がない場合は、「—」表示

**平成26年度 有田川町健全化判断比率報告**

(単位: %)

	比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	13.33	20.00
連結実質赤字比率	—	18.33	20.00
実質公債費比率	11.2	25.0	20.00
将来負担比率	54.6	350.0	—

実質赤字額又は連結実質赤字額がない場合は「—」表示



(水尻地区内の畑)

農地災害



裕農道 (東丹生園地区)

農業用施設災害



町道天満川1号線 (天満地区)

町道災害



七神谷川 (吉原地区)

町道災害

### 決算認定

◎平成26年度水道事業会計剰余金の処分および決算認定

### 条例の制定

◎手数料条例の一部改正  
「マイナンバー制度に伴う改正」

◎個人情報保護条例の一部改正  
「マイナンバー制度に伴う改正」

◎水道事業給水条例の一部改正  
「水道料金をクレジットカードでも支払いできるように改正」

◎職員定数条例の一部改正  
「消防職員の定数を現行64名から71名に改正」

◎消防職員の定数を現行64名から71名に改正

◎職員定数条例の一部改正  
「消防職員の定数を現行64名から71名に改正」

◎職員定数条例の一部改正  
「消防職員の定数を現行64名から71名に改正」

◎職員定数条例の一部改正  
「消防職員の定数を現行64名から71名に改正」

が平成27年末から始まる。これに伴う退職者の補充。新規職員は1年間の教育訓練の必要があり、現場に従事する職員が減り、消防力の低下を招く。

②高齢化が進む中で、救急件数も増加している。救急出動の体制が不十分になり、非番召集が増加している。万全な体制を整えなければならぬ。

③今年の4月から消防団事務を引き継ぎ、事務が増えた。以上3点が増やす理由である。

◎職員定数条例の一部改正  
「消防職員の定数を現行64名から71名に改正」

◎職員定数条例の一部改正  
「消防職員の定数を現行64名から71名に改正」

◎職員定数条例の一部改正  
「消防職員の定数を現行64名から71名に改正」

◎職員定数条例の一部改正  
「消防職員の定数を現行64名から71名に改正」

◎職員定数条例の一部改正  
「消防職員の定数を現行64名から71名に改正」

◎職員定数条例の一部改正  
「消防職員の定数を現行64名から71名に改正」

◎職員定数条例の一部改正  
「消防職員の定数を現行64名から71名に改正」

◎職員定数条例の一部改正  
「消防職員の定数を現行64名から71名に改正」

### 規約の変更

◎和歌山県市町村総合事務組合規約の変更について  
「那賀老人福祉施設組合が解散することに伴う変更」

### 会議規則の一部改正

◎有田川町議会会議規則の一部改正  
「議会における欠席の取り扱いに関して、出席の場合の欠席の届け出について新たに規定する」

◎有田川町議会会議規則の一部改正  
「議会における欠席の取り扱いに関して、出席の場合の欠席の届け出について新たに規定する」

◎有田川町議会会議規則の一部改正  
「議会における欠席の取り扱いに関して、出席の場合の欠席の届け出について新たに規定する」

◎有田川町議会会議規則の一部改正  
「議会における欠席の取り扱いに関して、出席の場合の欠席の届け出について新たに規定する」

◎有田川町議会会議規則の一部改正  
「議会における欠席の取り扱いに関して、出席の場合の欠席の届け出について新たに規定する」

◎有田川町議会会議規則の一部改正  
「議会における欠席の取り扱いに関して、出席の場合の欠席の届け出について新たに規定する」

道路線の認定

3件

町道尾鼻北垣内線

町道1009号線



杉野原地区



野田地区

道路線の変更

1件

町道天満線  
町道と県道が  
重複する箇所が  
あり町道から県  
道に認定変更。



天満地区

財産の取得

1件

◎小型消防ポン  
プ積載車(3  
台)の購入  
848万円



同型モデルを購入予定

諮問

◎人権擁護委員候補者の  
推薦

- 山口 芳子 氏
- 有田川町青田
- 栗山 昌之 氏
- 有田川町尾中
- 高居 涼子 氏
- 有田川町明王寺

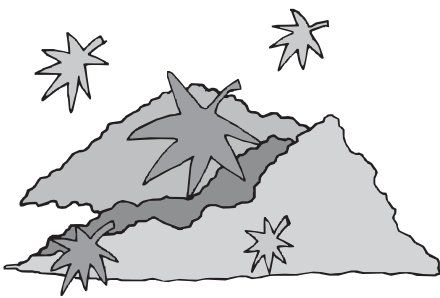
基本協定の變更

◎公共下水道根幹的施設  
の建設工事委託に関す  
る基本協定の變更  
「当初8億7500万  
円から変更後10億5  
700万円に(吉備浄  
化センター水処理施設  
増設に係る工事費)」

請負契約

◎下水道吉備第1幹線管  
渠布設工事(第4工  
区)

5189万円



◎下水道吉備第1幹線管渠布設工事（第5工区）  
4864万円

◎下水道吉備第1幹線管渠布設工事（第6工区）  
5749万円

### 請願の審査

◎安全保障関連2法案の廃案を求める請願  
付託先：総務文教福祉常任委員会  
結果……不採択

### 決算審査特別

#### 委員会委員構成

◎は委員長 ○は副委員長

◎ 橋爪 弘典  
○ 小林 英世

谷畑 進

辻岡 俊明

林 宣男

森本 明

殿井 堯

佐々木裕哲

岡 省吾

森谷 信哉

堀江眞智子

新家 弘

湊 正剛

増谷 憲

\* 中山議長と亀井監査委員は除く

\* 平成26年度一般会計決算ならびに各特別会計決算は休会中に審査され、12月定例会において審議されます。

## 議会マ×知識

### 予算と決算

その6

予算の使命は、町が行政を執行していくために必要な経費の支出と、それに充てるための収入をチエックすることです。予算には当初予算と補正予算などがあります。

町長のみに専属していますが、教育に関する予算編成には教育委員会の意見を聞く必要があります。予算の編成する権限は町長のみに専属していませんが、教育に関する予算編成には教育委員会の意見を聞く必要があります。

予算を編成する権限は町長のみに専属していませんが、教育に関する予算編成には教育委員会の意見を聞く必要があります。

### 当初予算

予算の会計年度は4月1日から3月31日までです。当初予算は毎会計年度の開始前に議会の議決を経なければなりません。地方自治法第211条では年度開始前20日までに必要とする費目の追加や削減の経費のみが提案

### 補正予算

当初予算確定後、いろいろな情勢の変化により

変更を加える予算です。回数に制限がないが最小限にとどめるべきとされています。

補正予算は提案される度に審議し、議決します。

### 決算の認定

決算は歳入歳出予算に基づき収入と支出の結果を集計した計算書で、予算を執行した結果、どのような成果を上げたかを示す成果報告書にもなります。

会計管理者は決算を毎年度8月31日までに、町長に提出します。町長は9月議会に提案します。

議会は特別委員会に付託し、歳入歳出予算が適正に執行されたかどうかを審査し、その行政効果や経済効果を検証し、住民に代わって行政効果を評価します。審議の結果は、後年の予算編成や行政執行の参考となります。

# 一般質問 7議員が登壇しました

年4回の定例会一般質問は、議員の日常活動や考え方にに基づき、町長もしくは教育委員会に対する質問の要旨をまとめ、開会日から質問通告の締め切り日までに議長へ通告します。一人の議員は、あらかじめ通告している質問について3回まで質問ができます。

町長などに行政への基本姿勢や方針、その

時々の重要課題など、町行政全般について、自由に質問ができるようになっています。町民皆さまの傍聴をお待ちしています。

なお、「かわら版」の掲載には、紙面が限られています。原稿は一人約900字以内にまとめることになっているため、すべての質問が掲載されるとは限りません。



佐々木建設環境部長



林総務政策部長



中山町長



楠木教育長



立石産業振興部長

質問議員氏名	質問事項
殿井 堯	1 ゴミ処理場移転先の見通しは
	2 雨水事業計画は
佐々木 裕 哲	1 マイナンバー制度の準備体制を問う
	2 今後10年間の町づくり重点政策を聞く
	3 プレミアム商品券の販売を振り返って
辻 岡 俊 明	1 子ども議会を開催してどのように感じたか
岡 省 吾	1 林業振興のため木質を利用した循環型エネルギー社会の実現に
	2 不法投棄ゴミの現状は
増 谷 憲	1 安全保障関連法案の認識を問う
	2 地方創生総合戦略の具体化はどうか
	3 恒常的に道路の維持管理を求める
	4 公共施設のトイレの整備を
小 林 英 世	1 地方総合戦略の経過と現状は
	2 雨水水質検査を検討してはどうか
	3 町財政、今後の見通しは
堀 江 眞 智 子	1 保育所の給食のあり方と待機児童対策は





# ゴミ処理場移転先の見通しは 雨水対策事業計画は

殿 井 堯

**町長** 早くに決定しなければならぬ

**ゴミ処理場移転先は決まったか**

**質問** 1市3町の広域事業として運営されているゴミ処理場（環境センター）を平成33年度までに有田川町上中島地区（設置場所）から移転しなければならぬことになっている。しかし、いまだ何の進展もなく候補地すらも決まっていない。

平成25年度に有田川町、湯浅町、広川町から候補地を出していたのだが、予算面や環境面などの問題から条件を満たすことができず、白紙となったままである。

広域の事業の管理者である望月有田市長からも何の回答も得られていない。今後の方向性を問う。

**町長** 現ゴミ処理場において、有田川町小島、上中島地区の皆さんには多



広域で運用されている環境センター

大な迷惑をおかけしている。次に処理場を建設する際は別の地区でということとを前提に話を進めてきたが、さまざまな問題から候補地を決められていないのが現状である。

**質問** 移転する年度が決まっている以上、早急に候補地を決定しなければならぬ。

有田市は候補地を決められないうえに、現処理場への再建設案にも反対している。

1市3町の合同事業といえども、このまま有田川町だけに負担がかかるようなことがあってはならない。町長の考えはどうか。

**町長** さまざまな観点から検討し、皆さんにご理解してもらえよう、これからも1市3町で力を合わせ尽力する。

**町長** 下水道工事のめどがつけば検討したい

**雨水事業計画は進めるのか**

**質問** 雨水対策事業計画が平成21年度に認可申請されている。しかし全く計画が進行していない。計画はどうなっているのか。今後この事業を進めて行く予定はあるのか。

また、町として予算的に厳しい状況にあると思うが、災害の危険や安全性の面において緊急性を要する場所においては優

先に雨水の改善に努められたい。

**町長** 現段階では、下水道の環境整備工事が優先的に行われている。

下水、雨水工事には莫大な費用がかかるため同時進行が厳しい状況にある。下水道工事が一段落したら、財政状況など検討を重ねたうえで雨水対策工事も進めていきたいと考えている。

全く対策ができていないわけではないが、一部ではあるが、雨水対策の改善が行われている。



建設中の下水道終末処理場（吉備浄化センター）

# マイナンバー制度の準備体制を問う 今後10年間の町づくり重点政策を聞きたい プレミアム商品券の販売を振り返って



佐々木 裕哲

**マイナンバー制度の準備体制を問う**

**町長**  
システム改修など準備を進めている

**質問** この制度は行政の効率化、国民の利便性、公平公正な税と社会保障の実現のため必要だが、一方さまざまな個人情報が含まれる。

預金口座、クレジットカード、年金などから行政手続きまで全て紐づけられ、便利な反面、漏えいすると大変なことになる。セキュリティを含め準備体制は整っているのか。

この制度の詳細なことを知らない方が多い。町として広報はどうするのか。

**町長** ナンバーの通知からカード利用に向け、現システムの改修や条例の整備、職員の研修などを行っている。

住民への広報は町広報誌、ホームページ、パンフレットで周知を行う。



マイナンバーカード（イラスト図）

セキュリティは国の指針に基づき行い、サイバー攻撃に対し、ネット回線を別にして対処する。ただ、職員からの漏えいはあってはならないので研修などで徹底を図る。町民の個人情報についてはセキュリティポリシー（情報保護の基本方針）の改正を行い、対策を講じていく。

**今後10年間の町づくり重点政策を聞く**

**町長**  
福祉、防災、道路や雇用に力を入れる

**質問**

合併して早10年、

合併時「きらめき広がる有田川町」将来人口3万人として10年計画でいろいろ事業を行ってきた。その結果、近隣市町より比較して活気ある明るい町となったが、わが町も少子高齢化のため、10年間で人口が2千人減少した。

将来、この町を背負ってくれる若者たちに、これだけはしておきたい町づくり構想があれば聞きたい。

**町長** これからは地方創生ということで自分たちの町は自分でやっていくという考えでやらなければならぬ。

安心、安全、心豊かに住める町づくりのために福祉・防災・道路整備を進める。

特に若者が住めるよう子育て問題、働く場づくりを重点に魅力あるまちづくりをめざす。今までのような企業誘致は難しいが、農業法人のような

働くところを確保できるように一生懸命がんばっていく。

**プレミアム商品券の販売を振り返って**

**産業振興部長**  
今後、方法を検討する

**質問**

2割お得なプレミアム商品券。総額6千万円分が販売され購入者から大好評だった。反面、買えなかった人々から予約販売の仕方に苦言が寄せられた。他の自治体では急ぎよ抽選方法に変更したところもあった。

今回の教訓を今後の参考にしてもらえるのか。

**産業振興部長** 予想以上に早く完売し、そのため町民から問い合わせやご意見、ご提言が約400件あった。

今後、今回のご意見を真摯に受け止め、慎重に検討する。



# 子ども議会を開催して どのように感じたか

辻 岡 俊 明

「子ども議会」の総括は  
どうか

まちを知って  
もらうために  
意義深い

**質問** 8月7日、有田川町で初めての「子ども議会」が開催された。

5班で構成する質問団と議長団に分かれた石垣中学校の生徒が堂々と意見を述べ、スムーズに議事を進行させていた姿には驚きと同時に頼もしさを感じた。

先生方の熱心なご指導もあつたことと思うが、図表を使ったりタブレットを使ったりの工夫を凝らして、日々の生活に密着した要望・意見や日頃思っていることを取り上げて質問していたことには、我々議員も教えられ学ぶことが多かった。

町長は昨年9月の質問に対する答弁の中で「子ども議会」に期待することとして次の3点を挙げ

ていた。  
① 議会を身近に感じてもらう。  
② 町政に対する質問や提案をしてもらう。  
③ 政治や行政に興味・関心を持ってもらう。

また教育長は「子ども議会」は政治、行政に関心を深めてもらう体験的学習のよい機会になると答弁された。

そこで、初めての「子ども議会」を終えて、町長の感想・所見と教育委員会の総括を教育長に聞く。



活発な意見を出しあった子ども議会

**町長** 生徒の質問については通学路、子育て、高齢者、地域のことなど、身近な問題から大きな問題まで多岐にわたり、住みよい町にしていこうとする

ことが分かる素晴らしい質問や意見であった。生徒たちのしつかりとした考えに驚きとともに大変うれしく思っている。生徒たちから出された地域の課題に基づく提案は参考とすべきところがたくさんあり、今後の行政運営に活かしていきたい。

若者の郷土を想う気持ちが、これからの有田川町発展のためには大変重要であると考えている。だから生徒たちに政治や行政、そしてまちづくりに興味・関心をもってもらうことは欠かせないと考えている。

そういう観点からも「子ども議会」は大変意義あるものと考えている。

**教育長** 選挙法の改正により選挙権年齢が20歳以上から18歳以上に引き下げられた年であり、的を射た企画であったと考えている。

生徒たちは学校で学習する議会のことを実際に体験し、町のことについていろいろと質問したり、意見を述べたり、提案することにより、役場の仕事や議会の仕組みを理解し、政治や行政がより身近なものになったと考えている。

今後の開催はどうか

教育長  
前向きに検討  
していく

**質問** 今後の「子ども議会」開催はどうか。

**教育長** 生徒の発表する力や調べる力がついたという石垣中学校の総括を踏まえ、町内中学校の校長先生たちと相談しながら前向きに検討していく。

# 木質を利用した循環型エネルギー社会の実現に 不法投棄ゴミの現状は



岡 省 吾

**木質バイオマス事業の  
今後は**

**町 長**  
実践に向け  
検討を重ねたい

**質問** 林業不振が叫ばれて数十年。かつては隆盛を極めた林業も時代の変遷の中で衰退の一途を辿っている。この問題をどう好転させるかが課題だ。森林資源を余すことなくどう有効活用していくか。その道を探ることが急務であると考えます。

**町長** 町内温泉施設のボイラーの熱源に木質化をと検討しているところであるが、コスト面や間伐材などの供給体制について更なる検討が必要である。現在、木質バイオマスボイラーとは別に、木質バイオマス発電関係の事業所から事業展開のお話をいただいている。今後、今まで以上に循環型エネルギー社会への変革が必要だと考え、実践に向け検討を重ねたい。

**質問** 毎年、夏休みシーズンともなると、有田川に涼を求める方々が多く来られる。例年、地域の皆さんを悩ませるのが、一部のマナー欠落者が放置するゴミの問題である。地域住民のボランティアや役場職員も散乱したゴミを処理してくれているが、マナー違反が後を絶たない。

**不法投棄ゴミの現状は**

**町 長**  
以前よりも  
減ってきたが

**質問** 毎年、夏休みシーズンともなると、有田川に涼を求める方々が多く来られる。例年、地域の皆さんを悩ませるのが、一部のマナー欠落者が放置するゴミの問題である。地域住民のボランティアや役場職員も散乱したゴミを処理してくれているが、マナー違反が後を絶たない。

**町長** 不法投棄ゴミの最近の状況は、一時に比べ減ってきているが、依然、一部のマナーが悪い人によるゴミの散乱は目に余るものがある。不法投棄は犯罪である。町条例では罰則を強化するよりも法律による罰則を適用して抑止を図り、環境美化に努めたい。

**建設環境部長** 今年度、吉備・金屋地区で410kg。廃タイヤ・塩ビ製品の処理困難物は推計で150kg。清水地区ではゴミ袋8袋を回収し、環境センターに搬入した。以前と比べれば減少傾向にあると思われる。

**質問** 補正予算に不法投棄ゴミ撤収委託料が計上されていた。これは重機のキャタピラーゴムが投棄されていたことの処理費だという。

**町長** どのように悪質な廃棄処理に要する撤去費用は年間どのくらいか。また、監視体制はどうされているのか。

**町長** 広く情報提供をいただき、警察と連携を密にして監視体制を強化したい。

**建設環境部長** 不法投棄ゴミに係る年間処理費は平成25年度で103万6千円、平成26年度で61万2千円、平成27年度予算額は、今回要求分を含め、現在までで122万3千円を計上している。



林道脇に投棄されていた重機のキャタピラーゴム



# 今日ほど地方自治の本旨が問われているときはない

## 憲 谷 増

**安全保障関連法案の認識を問う**

**町 長**  
答弁は控えない

**質問** 憲法99条の目的と認識はどうか。

**町 長** 憲法99条では「天皇又は摂生及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負う」としている。憲法は尊重しなければならぬ。  
**質問** 安全保障関連法案についての認識はどうか。  
**町 長** 国政に関することであり、ここでの答弁は控えない。しかし、戦争は二度とあつてはならない。

**地方創生総合戦略の具体化はどうか**

**町 長**  
計画中で12月議会にて報告したい

**質問** 有田川町総合戦略や人口ビジョンの数値目標はどうか。

**町 長** 国立社会保障人口問題研究所による2040年の人口推計は1万8959人、2060年の推計は1万3755人。

人口減少を止めるために町の総合戦略を策定中であり、12月議会にて報告したい。

**質問** 地方創生先行型交付金の「上乗せ交付分タイプ1」は申請したのか。

**町 長** 申請は見送った。

**質問** 「トップランナー方式」は事業経費が最も低くなった自治体のものを基準にして交付税を計算するから地方交付税は減らされる計画となる。認識と対応はどうか。

**町 長** 交付税を減らす手段に使われる可能性が大きい。導入しないよう国・県に働きかけたい。

**質問** 5年で成果が出ないと交付税が減る。

**町 長** 成果を出せるよう取り組む。

**質問** 若者の雇用対策、高校卒業まで医療費の無料化、若者への起業支援、住宅リフォーム制度化、農林水産業への支援、自然エネルギー導入策、34局地域へのネット整備、移住支援、空き家活用対策、公共交通の充実、清水や金屋地域へまちおこし協力隊の導入を計画に入れていただきたい。

**町 長** できるだけ多くの項目を網羅できるように計画したい。

**町 長** 恒常的に道路の維持管理を求める

**町 長**  
維持管理していく

**質問** 過去に道路管理が不十分で賠償責任を問われたことはないか。

**町 長** 最近5年間で7件、賠償金額は55万1379円。

**質問** 定期的に側溝の土砂の撤去と道路の凸凹を

改修し、スクールバスが冬期に安全に運行できるよう維持管理を求める。

**建設環境部長** 道路の凸凹の改修、また台風や豪雨の後は、職員でパトロールを行い、できるだけ早く土砂の撤去と道路補修をするよう心がけている。

**教育長** スクールバス委託業者から聞き取り調査を行い、関係機関と協議する。

**公共施設のトイレの整備を**

**町 長**  
改善していく

**質問** 洋式トイレと多目的トイレの両方がない施設は7つある。改善を求める。

**町 長** 7カ所の施設の利用状況などを考慮したうえで随時、改善していきたい。

# 地方総合戦略の経過と現状は 雨水水質検査を検討してはどうか 町財政、今後の見通しは



小林英世

わが町の総合戦略策定の経過と現状および今後を問う

町長 10月策定をめぐり、さまざまな意見を収集する

**質問** 総合戦略のために経費をいくら使ったか。

**町長** 予算総額は1千万円。現時点での契約額は約900万円、主なものには有田川町人口ビジョンおよび総合戦略策定支援業務に約640万円。

有田川町人口ビジョンおよび総合戦略策定のための政策アドバイザー業務に260万円である。

**質問** 地方創生は行政だけでは難しい。町民の協力は不可欠との考えだが、総合戦略に関して住民の理解度をどのように判断しているか。

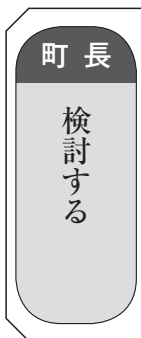
また、次世代社会を支える若者の意見を大切にしたいがどうか。

**町長** 住民の皆さんの理解も進みつつあると感じている。

7月、8月に講演会を実施したが、両方とも大勢の人が熱心に聞いてくれたし、若い人が大勢参加してくれた。

今後、若い人を含め、広く意見を聞き、町民の皆さんとともに進めていきたい。

町長 降雨水質調査、広報内容の検討を



**質問** 広報に掲載している降雨水質調査の経緯および検査方法、経費を問う。

**建設環境部長** 旧吉備町の時代に、地元区の要望で酸性雨の状況を把握するため、平成13年6月から行っている。

吉備地区の6ヵ所で月2回、年間24回程度、酸性雨等調査マニュアル実施細則に基づき実施し、経費は年間40万円弱である。

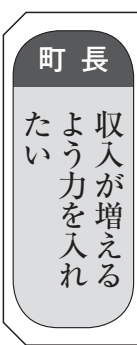
**質問** データからはこちら

数年間、酸性雨の改善が明らかで、被害報告など影響がないのであれば、検査エリアを広げたり、検査回数を減らしたり、検査や広報の内容を検討したらどうか。

**町長** 広域に機材を分散させることも検討するが、狭い地域に集中しているのは当初小島区が独自に始めてくれたものを町で検査するようにした経過も理解されたい。

**建設環境部長** さまざまな産業界の取り組みだけでなく家庭からのエネルギー消費量を減少させることで二酸化炭素が減少する。低炭素社会実現のためにも、広報活動は継続する。

町長 財政の硬直化が懸念されるが



**質問** 本町の財政硬直化

をどのように考えるか。経常収支比率は増加傾向で、懸念されているかどうか。

**町長** 経常収支比率は目標の90%以内を維持できているが、増加傾向である。

経常支出に前年度比5%のマイナスシーリングをかけているが、高齢化の進行などにより削減は難しい状態である。

今後、経常的な収入が増えるよう力を入れたい。  
**質問** 今後の予算規模や財政状況をどのように推定しているのか。

**総務政策部長** 平成26年度の決算と平成27年度の予算を基に平成35年度の財政を推計すると、現在より歳入合計で約26億円、歳出合計で約24億円減少する。

町債は現在より100億円減の131億円、基金は26億円減の76億円程度を見込んでいる。



# 待機児童対策は 新しい保育所の食育計画・給食実施は

堀江 眞智子

### 待機児童対策は

**町長** 他町や民間保育所と協力してやっていく

### 質問

小学校に入れない子どもはいないのに、なぜ保育所に入れない子どもがいるのか。純粹で素朴な疑問だ。当町に待機児童はいるのか。

政府は盛んに少子化対策を打ち出しているにもかかわらず、子育ての現場では待機児童が問題になっている。保育所に通所するには、「保育に欠ける」という条件が求められる。

分かりやすくいうと、保護者が働いているかが問われている。しかし、現在の子どもを育て方を考えた時、保育所の果たす役割は大きい。

保育を希望する子どもをすべて入所対象とすべきである。そのことが、若い世代が住みやすい安心

して子育てのできる有田川町になるのではないか。

**町長** 現在、当町に待機児童は一人もいない。今後も見込み人数に対する入所人数は満たしている。

しかし地域・保護者のニーズと出生率などを考慮し、近隣市町・民間の保育所と連携してニーズに対応していく。



吉備会館跡地に建設中の新統合保育所

### 新しい保育所の食育計画はどうか

**町長** 年令別の年間計画をつくる

### 質問

保育所給食のあり方を考える上で、何より

重視すべきことがある。

給食が安全で子どもの豊かな成長にとってかけがえないものであり続けられるかどうか。また保護者の信頼を得られるかどうかである。

給食は、生涯にわたる健康づくりのために重要だ。児童への食育がさらに求められるのではないか。

### 教育長

保育所における食育は厚生労働省の指針に基づいて、健康な生活の基本としての食を営む力の育成に向け、その基礎を養うことを目標としている。そのため年令別の指針を設け、町立保育所全体の食育計画を作成している。

各保育所では年令別の年間指導計画をつくり取り組んでいる。

新保育所の食育計画は現保育所の食育計画表を基に、年令別の年間指導計画を4期に分けて設定

する予定である。

### 民間委託とのメリットは

**町長** 定数適正化と財政の効率化を図る

### 質問

給食を民間委託にするメリットはあるのか。  
**町長** 当然、安全安心な給食の提供を基本に、町の方針として民間委託していく予定である。

御霊・田殿保育所もすでに民間委託しているが、自園給食の保育所とかわらず、所長、全職員、栄養士、調理員が連携して一人ひとりの児童へ対応している。

町の方針として順次、民間業者に委託していくことを理解いただきたい。メリットとしては定員適正化計画に基づき、定員の削減を図ること、および行財政改革に基づき民間への事業委託により効率化を進めることであると考へて行っている。

議会運営委員会視察

議会運営についての調査

委員長 森谷 信哉

7月1日から2日にかけて議会運営委員会の視察研修を実施しました。今回の研修は、一問一答制やインターネット中継など議会運営について調査するため、愛媛県松前(まさき)町議会を訪れました。

松前町議会では、予算

決算常任委員会を設置し、議長を除く全議員が所属して全体的な視点で審査する体制をとっております。一般質問について、以前は一括質疑方式をとっていましたが、平成17年より一問一答方式を導入しました。

質問者は、一回目の質



松前町にて説明を受ける

問については、通告書に従い一括質問をし、理事者側(町執行部)も一括答弁をします。その後、再質問を行うときは、一問一答とし、制限時間を設け、その範囲で、再質問を行います。ま



松前町議会議場

た、質問についても、基本的に町全体についての政策論争をするにとどめ、議員においても、明確な答弁が得られるよう、簡潔な質問を行うとのことでした。

また、理事者側には反問権を与えておりませんが、委員からは、反問権を与えてはどうかとの質疑がありました。

一問一答方式の利点は、質問者については、明確な答弁が引き出せ、傍聴

者については、議論が理解できやすいという利点があるとのことでした。

また、議場で傍聴できない方には、議会の様子を知ってもらうために、平成23年度

からはインターネット中継、平成26年度からは録画配信を愛媛ケーブルテレビに一部委託して実施しているとのことでした。

配信を視聴した皆さまから、さまざまな意見が寄せられるとのことですが、議場まで行くことなく傍聴できることで、好評だとのことであります。

議会広報委員会については、従来特別委員会であったが、毎議会の活動

であるために、常任委員会として、取り組んでいくことでもあります。有田川町議会においては、今後一問一答方式導入の議論を考えていますが、より一層住民の皆さまに議会の内容を分かりやすく伝えるものにするためにも、今後、議員全員で協議していきたいと思っております。また町においては、吉備庁舎、金屋庁舎、清水行政局の一階ロビーにてテレビによる中継を行っております。現在、住民の皆さまがご覧いただける環境が十分整っておりませんが、今後、財政面も考慮しながら、研究をする必要性を痛感いたしました。今回の調査は有田川町議会のこれからの運営に活かしていくための有意義な視察になり、ますます議会を身近に感じていただける議会にできるよう取り組みたいと思っております。



産業建設住民常任委員会視察

赤字を出さない  
第三セクターと移住施策

委員長 殿井 堯

9月30日、10月1日、広島県三次市と島根県雲南市で産業建設住民常任委員会の視察研修を実施しました。両市とも平成の大合併で市になりましたが、中山間地が多く本町と同じ課題を抱えています。それを克服し成果を上げています。赤字を出さない第三セクターの運営と移住施策を視察研修して来ました。

君田町の活性化

三次市君田町の第三セクター（株）「君田21」は平成9年に旧君田村が開業した道の駅「フォレスト君田」を中心に、温泉、特産品販売所、美術館、パンの販売所、喫茶店などを営業しています。



君田温泉「森の泉」

設立以来8期連続5%の配当を出す優良第三セクターで、平成16年に「立ち上がる農林漁村」に選定されました。そして、近年最盛期ほどの来客がないなかでも、赤字を出さずに奮闘しています。現在、温泉の来場者は年間1万3千人程度でリピーターや県外の人も多いそうです。年商は約3億9千万円で、従業員は64名、3分の

1は40歳未満の若者です。温泉や施設のおかげで、農家に活気が生まれ、U・Iターンや周辺から新しい人が入ってきました。また、イベントや特産品販売で来場者との交流が盛んになり、地域の活性化に大きく貢献しています。従業員の接客姿勢のすばらしさと、役員は無報酬で郷土のために奉仕している姿に感銘を受けました。

吉田町の郷土愛と誇り

雲南市吉田町にある第三セクター（株）「吉田ふるさと村」は昭和60年に村消滅の危機感の中、設立されました。資本金6千万円、市が25%出資しています。設立当時から、行政は赤字の補填をしないうことになっています。



人気のおたまはん



雲南市で説明を受ける

現在の年商は約4億円で従業員数は66名です。業務内容は特産品の開発及び製造・販売（卵かけ醤油「おたまはん」は有名）、市民バスの運輸業務、簡易水道施設の管理、管工事業および水道施工事業、宿泊温泉施設の経営、野菜などの栽培、旅行商品の企画・販売、飲食店の経営、道の駅の管理をしています。多種多様な事業を展開し、地域密着型第三セクターとして地域貢献と利益確保を追求し実践しています。

従業員は郷土に愛着を持ち、仕事に誇りを待って働いているそうです。

移住は官民の連携で

空家の活用については本町にとっても切実な課題で、人口の増加はもちろん、地域活力の増進、活性化につながりません。また、空家を放置しておくことは、防災や防犯の観点からも好ましくありません。

雲南市では定住推進員3名（行政の専属スタッフ）と地域に詳しい定住協力員の連携で、過去10年間で275世帯705人の定住を成し遂げています。

移住に関しては空家バンクをつくり、さまざまな補助金やイベントを用意し、熱心に情報発信することで結果を出しています。地域を含めた受け入れ体制が重要です。

二市の視察を終え、地元愛の大切さを痛感しました。地方創生はやり方次第、行政と住民の意識で結果は大きく変わるということです。



# 平成27年第1回 子ども議会

子ども議会が行われた有田川町議会議場

平成27年第1回「子ども議会」が8月7日（金）有田川町議会議場で行われました。

町立石垣中学校の3年生21人が参加し、中山町長ほか執行部に対して、町の課題や身近な問題を質問しました。

開会にあたり、中山議長より、この議場は、議員が住民の代表としてさまざまな意見や質問を交換し合い、町内の事業や予算などを決めていく大切な場所であること、また、率直な意見や質問を参考に今後のまちづくりに活かしていきたいということなどが話されました。

議会は、3人の議長が交代で議事進行を行い、18人の子ども議員が5班に分かれて一般質問を行いました。

全員が初めての経験

であり、最初は緊張感が漂っていましたが、議長役の円滑な進行や、質問に立った議員役の工夫を凝らした資料提示など、本物の議員顔負けのパフォーマンスにより、中山町長をはじめ町執行部職員も汗をふきながら真剣な答弁を行っていました。

最後に楠木教育長から、子ども議会開催の意義と今後の方向性、また、関係者一同へのお礼が述べられ、初めての試みである子ども議会を無事に終了しました。

私たち町議会議員は、傍聴席からこの議会を見守り、意見に耳を傾けていました。未来の有田川町を担っていく若い力を頼もしく想う反面、自分たちに与えられた責務の重大さを改めて感じる一日でした。

## 質問内容と答弁

### 1班 「道路について」

**質問** 通学路の一部に水たまりができる危険な場所がある。安全に通学できるようなしてほしい。また、国道424号の一部に白線の内側が狭く側溝が深いところがある。管理は県になっているが、町から改修を要望してもらえるのか。

**町長** 警報が発令されたときは総務課や建設課の職員が夜を徹して待機している。今後このような事態が発生すれば、現場確認を行って早急に県へ要望していく。

路側帯については用地の確保が前提となるので、地籍調査を進めながら地元と協力して要望していく。

**建設環境部長** 住民の方などから通報があった場合、被災状況を確認して県へ対応を要請している。

地籍調査が終わっていない現時点では、土地の確保を要しない側溝ぶた設置を県へ要望していく。

**2班**  
「①子育てについて  
②高齢者問題について  
③介護問題について」

**質問** 家事と子育てをサポートするボランティアグループの設立とミルク代金の全額町負担は可能か。

高齢者対策として、ボランティアの育成やひとり暮らしの高齢者家庭訪問などはしているのか。

75歳以上の方への介護施設の個人負担金を一部助成する制度を新設してはどうか。

**町長** 各種委員や団体の協力で子育て支援を実施している。また、長期的な子育て支援対策を重視しており、中学校卒業まで医療費無料化を行っている。高齢者の対策は大きな

課題であり、ボランティアの重要性を認識されていることに頼もしさを感じている。介護施設利用についてはいろいろな軽減策を進めていきたい。

**福祉保健部長** 子育て支援は他にチャイルドシート購入助成やインフルエンザ接種助成を行っている。高齢者対策は、有料サービスを無料ボランティアに転換していくことも考えなければならぬ。

介護については、軽減や減額の制度はあるが、予防事業への取り組みが重要と考える。

**3班**  
「校区再編について」

**質問** 現状の校区では、同じ保育所へ通っても別の小学校へ行かなければならない。思い切った改革で校区の再編を。

**教育長** 国の法律、長い歴史や特徴ある地域性に

より校区は決まっているが、地域の協力や努力により解決していく。

**4班**  
「①吉備地区と清水地区の差について  
②清水地区の施設の活用について」

**質問** 有田川町の西と東では、人口や店の数、道などに格差がある。解決策を考えているか。

清水地区には立派な施設や古くから伝わる文化がある。これらの宣伝について何か活動しているか。

**町長** 清水地域では美しい自然環境の保全や都市との交流、吉備地域では生活環境の整備など格差ではなくそれぞれの地域の個性や魅力を延ばす取り組みを行っている。

伝統文化の支援は、観光施策と連携してPRに努めている。

**総務政策部長** 合併してから年間平均で吉備地域の人口は88人の増加、金屋地域は160人の減少、清水地域は131人の減少。今後、日本全体の人口が減少していく中で、積極的にまちづくりを推進し、安心して生活ができる有田川町にしていきたい。

**産業振興部長** 吉備地域の事業所数は494件、一方清水地域は158件。市街地と自然系ゾーンの差が顕著にあらわれているが、地域の個性を活かした活性化に努めていく。

清水地域の観光施設についてはイベント、パンフレットやホームページを通じての宣伝が主となっている。

**教育部長** 国指定重要無形民俗文化財「杉野原の御田舞」を地元と協力し

**5班**  
「人口減少対策について」

**質問** 人口減少を防ぐため、商業の発達や企業誘致などの対策をしているのか。

**町長** 商工会や民間事業者と連携した商店街の活性化を推進する。また、優良企業誘致を推進している。

**総務政策部長** 6つの基本方針を設定した長期総合計画と総合戦略によって魅力あるまちづくりに取り組んでいる。

**産業振興部長** 今年はプレミアム商品券および子育て応援商品券を発行した。また、現在操業している9つの誘致企業は、人口減少防止に大きく貢献している。

### 子ども議会生徒さんたちの感想

質問を終えた生徒の皆さんに感想を寄せていただきました。ご紹介します。（感想文は原文のまま掲載しています）

質問を終えた生徒の皆さんに感想を寄せていただきました。ご紹介します。（感想文は原文のまま掲載しています）

#### ブザーの音にびっくり

議員席と執行部席が思っていたよりも近かった。答弁台が少し高かった。緊張した。ブザーの音にびっくりした。

答弁が真剣だった。言葉が難しかった。質問するのが緊張した。ゆっく



子ども議会で答弁している町長

#### 自分たちの意見が通ってすごい

椅子がすごかった。固定されているけど、座るところが前後に動いて、立つときに邪魔にならなかった。左右に回って、離すと前向きに戻っていった。

自分の質問のところはうまくいったと思う。大きい声でゆっくり読めたと思う。自分たちの意見が通って町が良くなるのはすごいことだと思う。人の前で何かをいうのは、これからもっと増えると思うので、これから「相手に聞いてもらう」を考えて行きたい。

#### 議席に自分の名前の札があった

議場に入ったとき、場

#### 議長経験は二度とないと思った

議会を体験して、いろんなことを話し合えたので、良かったなと思った。議長席に座るととても緊張して、皆からみられていて声がきちんと出なかった。議長に選ばれた時は、「いややな」と思ったので、実際やってみるとこんな経験はもう二度とないと思うのでやって良かったなと思った。

#### 言っていることは難しかったが真剣さのあらわれと思った

初めての議会は新鮮でした。町長さんをはじめ、たくさんの方々が私たちの考えたことに真剣に答えてくれていてうれしかったです。いっていいことが難しかったのは、それほど真剣に答えてくれているからなのかと思いました。

#### 議会を傍聴する人がいることを初めて知った

結構本格的な議会だった。図を見せるのに緊張した。答弁してくれる人たちが詳しく答えてくれた。議会を傍聴する人がいることを初めて知った。答弁をするために、1人だけでなく担当の人がいて、2人以上で答弁してくれるところがあった。ビックリした。時間をかけて話し合いをした。集中して聞いた。だから、時間が早く過ぎたと思う。

#### 議長を上手にやれた

第一回の子ども議会の議長をさせてもらった。議場に入ると中がいつもと違った緊張感を感じた。ココで議長をやるのかと思ひ、改めて心を引き締めた。そして、本番。本番は全て上手にいき、自

分の中でとても満足した。終わってみると本当に議長をやらせてもらって良かったと思う。

**とても詳しく答えてくれた**

私たちの前の班の人が発表した後、議会の人たちは、とても詳しく答えてくれた。少し難しかったが、私たちが町のことについて、考えたことを真剣に答えてくれて、うれしかった。また、町のことについて真剣に考えてくれることが分かった。

**子どもを増やすために、いろいろな取り組みをしている**

本格的だった。教育委員長の人が「落ち着いて頑張つてね。」と頑張ってうれしかった。有田川町では子どもを増やすために、いろいろな取り組みをしていることが

分かった。ベビーカーやチャイルドシートを负担してくれたら、大変助かると思った。

**校区再編の質問をした**

今日は子ども議会を体験して、まず思ったことは、設備がとても整っていて、とてもきれいだなと言うことです。そして、町長さんたちが、とても丁寧に自分たちの質問に対して、答えてくださったので、とてもうれしかったです。僕たちの質問は「校区再編について」でした。僕は校区などは簡単に変えられると思っていました。しかし、校区には地域の歴史などが関係していることに、とても驚きました。とても良い経験になりました。

**みんなの意見がよかった**

今日の子ども議会では

自分はIPADを他の人たちに見せるだけだったけど、みんなの意見が話す速さも、声の大きさも良かったと思った。

**道を直してくれれると聞いてうれしかった**

道を直してくれると言っていたので、とてもうれしかったです。自転車通学の許可が下りるよう頑張つて安全運転に努めます。とても緊張しました。

**一度は議場に入ってみたいと思っていた**

私は一度議場に入ってみたいと思っていました。なので、入れて良かったです。自分の名前がはつてあって、とても本格的で驚きました。本番が始まるとたくさん人が来たのでちゃんと話せるか不安でした。町長さん

や他の人たちの答弁がとても長くて、答えてくれる人も1班に4人とかたくさんの人たちが答えてくれて、とても丁寧に答えてくれたので、分かりやすかったです。長すぎて途中何を言っているのかわかりにくくなりました。でも、自分たちが質問したところはちゃんと聞いていました。溝にふたをつけると言っていたので、早くつけてくれたら良いなと思いました。

**有田のことを考えたい**

今日はものすごく貴重な体験をさせていただきました。入るとすごく白くて清潔感があるなと思った。札をあげると名前があつて、ビックリした。静かにしなければいけないと思った。ちゃんと答えてくれて良かった。ぼくも有田のことを考えたい。

**緊張感ある空気に少し押された**

僕たち中学生の質問にたくさん長文で答えてくれたので、良かったです。真剣に皆さんが僕たちの質問に考えてくれていたんだなと感じました。議会に入つていったときから、緊張感にあふれた空気に少し押されました。何とか上手に発表できました。文を読むときあまり前を向くことができなかっただったので、次発表するときは前を向きたいと思えます。



子ども議会を終えての記念撮影



今年はじめて中学生も参加した清水八幡神社のまつり（10月15日 清水区）



有田川町議会平成27年第4回定例会は、12月2日開会の予定で、一般質問は12月10日・11日に予定されています。

議会では、皆さんの生活に直面する問題を議論しています。ぜひ傍聴にお越しください。

吉備庁舎、金屋庁舎、清水行政局の各1階ロビーにおいて議会中継も行っていますのでご覧ください。

また、議会ホームページでも、いろいろな情報を発信しています。ご覧ください。

求む!



広報委員会では、議会広報誌「かわら版」の表紙を飾る写真・イラストなど、町民の皆さんから募らせていたたいております。

有田川町の名所や風景など、お気軽にご応募ください。

皆さんからのご意見、ご感想もお待ちしています。

議会広報編集 特別委員会

- ◎ 増谷 憲
- 小林 英世
- 谷 畑 進
- 辻 岡 俊明
- 林 宣 男
- 岡 省 吾

◎は委員長  
○は副委員長

編集後記

全国の地方自治体が地方創生という事業を突然展開することとなった。10年計画の長期総合計画ですら人口目標3万人目標を達成できていない。6か月という短期間で「妙薬」をつくれるか心配である。しかも結果を残せなかった自治体は大切な財源である地方交付税を減らされるといのである。しかも有田川町は合併して10年。来年から普通交付税を段階的に減らされていく。現段階の試算では8億円前後減るらしい。

この結果どうなるか、かなりの経常経費の削減が待っている。ここで心配になるのは中山間地域である。地方創生といいつながり過疎地域はどうなるか。これからは、一層の住民自治の発揮、知恵を出し合い、地域力をつけて、地域のことは地域で考え、行政に働きかけていくことが求められてくる。(増谷 憲)

お問い合わせ ☎521-21111  
吉備庁舎4階議会事務局まで